

鳥取ワイド： 樹水高原スキー場 集客増へ平日ナイター特化

大山樹水高原スキー場（鳥取県伯耆町大内樹水高原）が今季から平日の営業を午後3時から10時までに設定し、ナイターに特化する。客足が伸び悩む中、仕事帰りの愛好者らを狙い、松江市など車で1時間圏内からも呼び込める時間設定で、巻き返しを図る。現在、平日に毎日ナイター営業を行うスキー場は山陰両県でほかにはない。

従来は午前9時から午後5時まで営業。23日に営業を始める今季からは、平日の営業時間を午後から夜にかけて設定するほか、土曜は午前9時から午後10時までと夜間を拡大する。日曜は従来通り。ナイター営業に併せ、カラフルに変色する発光ダイオード（LED）照明を新たに導入し、闇夜に浮かぶゲレンデを光で演出する。



過去のナイター営業で、愛好家でにぎわう大山樹水高原スキー場（エムケイ開発提供）

大山にはスキー場が4カ所あり、このうち最も大規模なホワイトリゾート（同県大山町大山）は、暖冬の影響を受けた2015年度を除くと近年の利用客が年間20万人前後と堅調。一方で、他の3カ所は苦戦し、大山樹水高原スキー場はかつて2万人を数えた利用客がここ数年は1万5千人ほどに落ち込んでいる。

開業から20年を超す同スキー場では、当初からナイター営業に着目し、昨季は月、水、金、土曜の週4回、営業時間を午後9時まで延長した。仕事帰りに一滑りを楽しむ愛好者らに親しまれたことから、ナイター営業特化に踏み切った。

米子市から車で約30分、松江市からも高速道路を使えば約1時間の距離。仕事が終わって午後7時にゲレンデに入っても、3時間は楽しめるという。

樹水高原は米子市街や日本海の眺望もセールスポイントで、晴れた日に隠岐の島を一緒に見たカップルは幸せになると言われ、「恋人の聖地」として人気だ。

運営会社・エムケイ開発の影山齋人索道部長（38）は「樹水高原からの夜景は米子市の街明かりや日本海のいさり火が幻想的。夜ならではの雰囲気を楽しんでほしい」とアピールした。

（'16/12/01 無断転載禁止）

<< 米子空港11月ソウル便搭乗... 水木しげるさん一周忌 住民... >>

用語解説: ナイター 樹水高原スキー場 発光ダイオード(LED)

Keywords by weblio

美しい地球 南極

★★★★★ FIVESTAR WEDDING